



三珠中学校  
学校便り

# 礎

ishizue  
令和4年9月30日  
文：校長 丹沢伸也

9月も終わりを迎えようとしています。コロナウイルスの感染者も全国的に減少傾向にあり、ほっとしているところですが、この数日は再び感染者数が前週の同じ曜日より上回る日が続くなど、願う通りに減少しないのが現状のようです。感染者数の全数把握の簡略化により、感染した際の濃厚接触者の特定や待機期間の指示など、これまで保健所が行っていたものが、簡素化により保健所では高齢者や妊婦等を対象にし、軽症者については医療機関が代わって行うことになったようです。学校でも報告方法が簡略化されました。感染した場合の療養期間は最短で7日間、濃厚接触の場合は5日間ということも示されています。(裏面に資料を載せましたのでご確認ください)今後も、理解とご協力を引き続きお願いします。

## 2学年 県内巡り実施 充実した2日間でした

2学年は5月から延期していた1泊2日の県内巡りを9月21日、22日の2日間で行いました。天気が心配されましたが、生徒がバスに乗っている時だけ雨に降られるという「運」にも恵まれ、2日間雨具を使うことなく見学を行うことができました。2日間の様子を写真と一緒に紹介します。



1日目はグループ毎に事前学習で作成したコースを、電車やバスを使いながら見学地を巡る自主見学でした。甲府駅を出発し、見学地は甲府市内、甲州市、山梨市と広範囲に渡り、武田神社、善光寺、県立美術館、昇仙峡、ワイン資料館、フルーツ公園、と様々でした。途中で道に迷ったりうまくバスや電車に乗れなかったり、と苦労した場面もあったようですが、日常では味わえない貴重な経験ができたのではないのでしょうか。



1日目 グループ別  
自主見学

## 愛宕山少年自然の家で宿泊 夜はナイトウォーク



その日は愛宕山にある少年自然の家に宿泊しました。老朽化により残念ながら来年3月で施設は閉館となるようですが、生徒は施設は古くても仲間と一緒に宿泊して過ごせることがなによりうれしかったのではないのでしょうか。

愛宕山で甲府盆地の夜景をバックに撮影した記念写真も良い思い出になることでしょう。夜は自然の家の周辺をグループ毎懐中電灯を頼りに決められたコースを歩く「ナイトウォーク」を行いました。暗い中怖さもあってか、あちこちから生徒の大きな声が聞こえてきました。コロナ禍で、生徒が大声で叫ぶ声を聞く機会が長くありませんでしたが、屋外の広い山のなかからこそ許される良い思い出ではないかと思えます。



2日目  
富士北麓の全体見学

2日目は甲府を離れ、バスに乗って富士北麓方面を訪れて全体見学を行いました。最初に訪れたのは河口湖フィールドセンターです。2つのグループに分かれて、鳥笛とペーパーウエイトを作るクラフト体験を行いました。鳥笛を作成した生徒は、完成するとすぐに野外に出て鳥が集まるか笛を鳴らして試して

## 全国学力・学習状況調査の結果について

今年4月19日(火)に実施された3学年の全国学力学習状況調査の結果が発表されました。結果を踏まえ、その分析と課題、今後の取り組み等について学校でも検討しましたので、お知らせいたします。

### 1 学力調査の平均正答率

教科	国語	数学	理科
全国との比較	やや上回る	同等	やや上回る

\*上記「全国との比較」は、総質問に対する正答率の平均について、下の基準により記述してあります。

かなり上回る	10ポイント以上、上回っている場合
やや上回る	5ポイント以上～10ポイント未満上回っている場合
同等	±5ポイント内にある場合
やや下回る	5ポイント以上～10ポイント未満下回っている場合
かなり下回る	10ポイント以上、下回っている場合

### 2 学習状況調査(質問紙の結果)

#### 【考察の方法】

質問に対して「肯定的回答」、「肯定的でない回答」か判断し、肯定的な回答の割合を全国と比較しました。

#### 【概況】

肯定的回答かそうでないかを問う質問項目が40程ある中で、肯定的な回答率が全国を上回っていたのが8割を超えていました。肯定的評価の割合が全国より10%以上高かったのが15項目あり、特に高かった項目として、

- ・「地域や社会をよくするために何をすべきか考える」(全国比+34)
- ・「今住んでいる地域の行事に参加している」(全国比+18)
- ・「自分の考えを発表する機会が、うまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表した」(全国比+17)
- ・「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」(全国比+17)

等がありました。今回学力調査を行った、国語・数学・理科に対する質問においても、21の質問のうち肯定的回答率が全国より高かったのは19項目で、生徒は3教科すべてに意欲を持って前向きに学習に臨む姿勢が見られました。

以上を基に、課題と今後取り組む内容を考えました。3学年の保護者には、集まっていた機会があったのでお知らせしましたが、本校のホームページ「お知らせ」に詳細を掲載しましたので、そちらをご覧ください。

体験の後は、ガイドに案内してもらって溶岩樹形からできた洞窟を回る「ネイチャーガイドウォーク」を行いました。所々にできた狭い洞窟、広い洞窟の中に実際に入って観察しながら自然について学ぶことができました。



浅間神社、富士山世界遺産センター見学

昼食に名物「吉田のうどん」を食べた後、見学は吉田の浅間神社へと移りました。



浅間神社ではお参りをした後多くの生徒がおみくじを買って、それぞれの運勢を確かめたようでした。

最後に訪れた富士山世界遺産センターでは、山梨の誇りで文化遺産である富士山について、その成り立ち、歴史、信仰など、様々な視点でガイドさんに説明してもらいながら見学を行いました。最後はバスに乗る時に大雨になりましたが、三珠支所に着く頃には小降りになり、本当に天気も味方してくれました。



## 防犯・交通弁論 ともに三珠中優勝

毎年行われている諏訪警察署管内「交通・防犯弁論大会」が8月末にビデオで録画、審査という形で行われました。交通弁論の部に2年生が、防犯弁論の部に3年生が参加しましたが、ともにみごと優勝となり、県大会に参加を称えたいと思います。



## 新人戦に向け 頑張っています。

来週6日(木)に実施される地区新人戦に向け、2年生が練習に励んでいます。新チームでの初の公式戦、頑張ってください。



# 新型コロナウイルス感染症と診断された方へ



陽性と診断された方と同居している方は、濃厚接触者となりますので、下記の待機期間まで外出を自粛してください。

### 陽性と診断された方の療養期間・同居している方の待機期間について

#### 陽性で療養する方の発症日と療養解除予定日

	0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目
症状がある方 発症日	発症日を0日目とし、7日間							療養解除	感染予防対策の徹底		
無症状の方 検体採取した日	発症日を0日目とし、7日間							療養解除			
	発症日を0日目とし、5日間					検査キットで陽性	療養解除	感染予防対策の徹底			
あなたの 場合	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

  

#### 同居している方(家族等)の待機期間

	0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
最終接触日	最終接触日を0日目とし、5日間					待機解除日	
あなたの 場合	/	/	/	/	/	/	待機解除日

**◆ 待機期間中の注意**

- 待機期間中は不要不急の外出や周囲の方との接触は控えてください。
- 濃厚接触者(同居家族等)としての待機中に発熱等の症状がみられた場合は、医療機関を受診するか、症状等に応じて自己検査を行ってください。医療機関を受診する際は、**山梨県新型コロナウイルス感染症受診・相談センター(055-223-8896)**、甲府市の方は、**甲府市受診・相談センター(055-237-8952)**へご相談を。

**◆ 療養期間中の注意**

- 原則、外出は自粛してください。
- 症状が軽快してから24時間が経過した場合、食料品等の買い出しなど必要最小限の外出は可能です。ただし、自主的な感染予防対策を徹底してください。

**◆ 療養解除後の注意**

- 療養が解除されても、有症状であった方は**10日間**、無症状であった方は、**7日間**が経過するまでは感染リスクがあります。
- ⇒ 高齢者等ハイリスク者との接触、ハイリスク施設への不要不急の訪問、感染リスクの高い場所の利用や会食等は避けてください。
- ⇒ マスクを着用することなど、自主的な感染予防行動の徹底をお願いします。

**◆ 届出対象外及び濃厚接触者の方には保健所からの療養(待機)解除の連絡はありません。**

## コロナ患者の「全数把握の見直し」に対応した新たな療養体制について



### ■ 新たな療養体制の概要

	現行	新たな療養体制	
発生届	発生届あり	<b>発生届あり</b>	<b>発生届なし</b>
対象者	全て	① 65歳以上の者 ② 入院を要する者 ③ 重症化リスクがあり治療薬等を要する者 ④ 妊婦	左記以外の方  <b>20~65歳未満の希望者(軽症者)で、基礎疾患または重症化リスクなし</b>
陽性診断	医療機関受診	医療機関受診	医療機関受診 診断後、別添チラシを対象者に交付 → <b>陽性者登録</b> → 検査キット配布・セルフ検査
健康観察	医師(ライトは看護師)	医師	<b>体調悪化した方は医師が健康観察を実施</b>
自宅療養	ホームケア協力医が診療 ↓ 必要に応じ、重点医療機関に接続	ホームケア協力医が診療 ↓ 必要に応じ、重点医療機関に接続	<b>健康相談・医療機関案内</b> <b>体調悪化した方からの相談受付(24時間)</b> 必要に応じ、受診可能な医療機関を案内 ・ 平日日中 <b>ホームケア協力医</b> に接続 ・ 夜間・休日 <b>オンライン診療</b> に接続 必要に応じ、重点医療機関に接続 <b>(病診連携)</b>
生活支援物資	全員に送付	保健所で聞き取り	<b>療養期間中に自己調達が困難な方に配布(WEB申込)</b>